

「赤ちゃん登校日」の活動について

- ・神戸川小学校において「赤ちゃん登校日」という授業を、地域の皆さんや市の協力を得ながらボランティアで行っている。市長に様子を見ていただきたい。
- ・この授業は、赤ちゃんや親、生徒、先生すべてにより影響を与える。「赤ちゃんを抱っこする」ものだと誤解している方が多かったが、このふれあいの中でお母さんが一番勉強になったという声が多かった。親は、小学生を見て子どもの将来のビジョンを描くことができる。最近の子どもは兄弟姉妹で密接に関わることも少なくなっており、人としての原点を再確認できる授業であった。
- ・市の主導ですべて行うのではなく、やりたい者が集まり、できることを分担し、市にやってほしいことをお願いしながらやっていく。みんなで手をつなぎ、話し合いながら、無理せず長続きするようやっていきたい。平成22年度は県のファンドへの申請も考えている。
- ・この事業によって、先生も生徒のいつもとは違う側面を発見することができ、元気になったとの声がある。
- ・この事業が出雲地域以外へも広がり、地域の活性化につながるとよい。今後も見守ってほしい。

災害時の情報伝達について

- ・隣接する湖陵地域と神西地域で情報伝達ができない。市と各コミュニティセンター、またコミュニティセンター同士で情報伝達ができる無線放送を構築してほしい。

水産振興について

- ・漁業従事者がどんどん辞めていき高齢化している。年間500万円程度の収入が維持できるようになれば後継者もできる。そのために、わかめとあらめの養殖を柱として、平成21年から試験的に始め、今後徐々に増やし、ある程度の年収が確保できるようにしていきたい。
- ・わかめ養殖は、一度途絶えているため技術の習得が必要。松江の笹子漁協や河下などへ視察に行き勉強している。加工職人についても、ベテランに加え知人に声かけをして、若い人へ加工技術が伝わるようにしている。
- ・設備整備の際、県と市から助成を受けているが、事業拡大のために引き続き支援をお願いしたい。

青少年の健全育成と安全確保について

- ・浜田市での大学生の事件を受け、市として青少年の安全対策に積極的に取り組んでほしい。
- ・学生と地域が互いを知るために、コミュニティセンター単位で交流を図る取り組みをやるとよい。
- ・防犯灯の設置について、町内会が申請するものと、小中学校の通学路へ市が直接設置するものと2通りあるが、申請を一本化してほしい。

出雲の酒文化のブランド化について

- ・「佐香神社」は日本酒発祥の地であることから、出雲ブランドとして活かすべきである。
- ・佐香神社の「どぶろくまつり」を積極的にPRし、また技術者を育成するなど、日本酒を通して地域を盛りあげていきたい。具体的には、杜氏学校の設立、新酒鑑評会の開催、どぶろく音頭の制作によるPRなど。

◆「市長面会日」は予約制です。

- ◆開催日／原則月2回(本庁1回、支所1回)
- ◆対象／個人またはグループ(5人以内)
- ◆面会時間／1人(グループ)あたり20分以内
- ◆広報情報課へお電話でお申し込みください。先着順とします。
- ※市長面会日は市民の皆さんとの意見交換の場であり、陳情・要望などの直接交渉の場ではありませんのでご理解ください。
- ※意見・提案については、個人情報を除き原則公開します。
- ※開催日等は、広報いすもやホームページでお知らせします。

◆市長面会日(いずれも13時30分～16時30分)

開催日	会場	申込受付期間
2月23日(火)	市役所多伎支所	2月18日(木)締切
3月1日(月)	市役所本庁	2月15日(月)～24日(水)
3月9日(火)	市役所湖陵支所	2月15日(月)～3月4日(木)

市長面会日の申し込み・おたずね／広報情報課 ☎21-8578

市長面会日でこのようなご提案 ご意見をいただきました



毎月2回「市長面会日」を開催し、市長が市民の皆さんと直接お会いし、市政に対するさまざまなご提案やご意見を伺っています。

皆さんからいただいたご提案やご意見を可能な限り公開することで、透明性の高い開かれた市政運営を行っています。

昨年12月末までに、56組101名の皆さんと面会しました。10月から12月までの市長面会日いただいたご提案・ご意見の一部をご紹介します。

面会者の方からこのようなご提案・ご意見をいただきました

開かれた市政について

- ・市長面会日の面会時間を、少なくとも30分はとってほしい。
- ・市長ポストの意見は早く公開してほしい。ポストは市民から市への情報提供である。
- ・市からの情報は早く提供してほしい。市民は関心を持っている。どんな情報を市民に提供するのも大事。とかく、国・県・市は自分に都合のよい情報しか流さない。
- ・予算編成過程を公開することは画期的なことであり、市民にとっては必要な情報である。

青少年文化センターについて

- ・旧宍道邸で計画されることには反対であり、平田本陣記念館で考えてほしい。
- ・青少年文化センターを和文化に親しむだけでなく、歴史も学ぶ施設として検討してほしい。
- ・市民に対し、旧宍道邸の活用の仕方を投げかけてみてほしい。市民のほとんどは、市が宍道邸を取得したことを知らない。

神西湖周辺の開発について

- ・この周辺はとても環境がよいので、花を植えたり古民家を移設し、出雲の桃源郷のようにしてほしい。また、市外の方に滞在してもらい、出雲の文化などを伝える民宿として、多くある空き家を活用してほしい。

道路・河川の清掃活動について

- ・道路河川ふれあい愛護活動として、毎年7月に道路清掃・草刈りを実施しているが、地元も高齢化が進み今後は難しくなる。松江市には「道路愛護団」制度があるが、そのような制度を設立してもらえれば、地域の有志を募って取り組みたいと思う。

広報紙について

- ・広報紙は、市民が市の情報を得るために最も重要な手段である。町内会未加入世帯(特に高齢者世帯)への配付方法を検討してほしい。郵送料を負担し、市から個別に郵送してもらう、また費用負担を行い、町内会から町内会未加入世帯へも配付してもらうなどの方法があると思う。